

そよかぜだより

令和4年4月25日

垂井こども園

心地よい春の日差しがふりそそぐ中、園庭にパンジーなどの色とりどりの花が咲き、登園してくる子どもたちを出迎えてくれています。

今年度、垂井こども園は0～5歳児の144名を迎えスタートしました。『垂井こども園が大好き』『先生と一緒に遊びたい』という気持ちで子どもたちが元気に安心して過ごせるようにしていきたいと思います。

『そよかぜだより』では日々の子どもたちの園での様子を地域の皆様や保護者の皆様に発信していきます。一年間、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

園での生活

うんてい



すべりだい



登り棒



押し花作り



すなば遊び



新しい環境のため、涙がポロリと流れることもありますが、戸外へ行くとニコニコ笑顔になり、園庭を散策したり、固定遊具や砂場で遊んだりしている子どもたち。「先生、これに登りたい」「ごはんどうぞ！」と、そばにいる先生に声をかけ一緒に楽しむ姿が見られます。子どもたちが安心して楽しめることをたくさん見つけていきたいと思います。

じゃがいもの苗植えをしたよ



じゃがいもの苗植えをはじめます。

芽が出ている方を上にして植えるよ。



じゃがいもが見えなくなるくらい、土を被せてね。

今年度、最初の栽培活動ということで、畑の先生（通称：畑のおじさん）の名前を一人ずつ呼びながら挨拶をしました。その後、畑のおじさんにじゃがいもの植え方を教えていただき穴の中に芽の出たじゃがいもを置いて両手で優しく土をかけました。

これからも畑のおじさんに教えていただきながら、栽培活動をしていく予定です。

散歩に行ったよ



こいのぼりがたくさんいるね～

川の水にこいのぼりが映っているよ！



テントウムシ、
みつけた！



相川河川敷や西相川公園に散歩に出掛けました。5歳児が「ぼくたちが紐を引っ張ってつけた、こいのぼりが泳いでいるんだよ。」と4歳児に伝えると、それを聞いた4歳児は『へえ～すごいなあ』という顔でこいのぼりを見つめていました。これからもどんどん園外に出て、いろいろな実体験を子どもたちとしていきたいと思っています。